

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	在宅療養における看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	平川 久美	実務経験と その関連資格	臨床経験 看護師10年 専任教員(教員研修受講済)3年 施設看護師3年 訪問看護師4年			
《授業科目における学習内容》						
終末期を迎えた対象・神経難病で療養する対象・障害を持ちながら生活する対象・寝たきり・認知症高齢者・在宅で療養する小児の事例を用いて、対象を生活の視点からアセスメントし、生活の維持とQOLの向上を目指した看護展開ができることをねらいとする。						
《成績評価の方法と基準》						
終講試験60%、授業態度40%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ在宅看護論①地域療養を支えるケア(メディカ出版)						
《授業外における学習方法》						
大阪府 入退院支援の手引き 参照 「在宅医療」知っていますか? DVD 変化に気づき介護と医療をつなぐ確認シートの手引き 参照 第6回近畿在宅医療推進フォーラム DVD						
《履修に当たっての留意点》						
疾患や社会制度について既習学習を復習し、在宅という場でその知識を具体的に活用する方法を学んでほしい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域で生活する療養者と家族のQOLの向上を目指した看護を述べる事ができる	PC プロジェクター スクリーン		
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害のある療養者の回復期看護について述べる事ができる			
		各コマにおける授業予定	脳梗塞後遺症で高次脳機能障害のある療養者の回復期看護を学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経難病(ALS,PSP)の療養者に対する看護を述べる事ができる			
		各コマにおける授業予定	神経難病(ALS,PSP)の療養者に対する看護を学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅で療養する重症心身症障害児をサポートする制度、家族支援について述べる事ができる			
		各コマにおける授業予定	在宅で療養する重症心身症障害児をサポートする制度、家族支援についてを学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅での終末期看護を説明できる			
		各コマにおける授業予定	在宅で終末を迎える対象の看護について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の療養者の気持ちと家族の思いを理解し、地域のサポートシステムを述べることができる		
		各コマにおける授業予定	認知症の療養者に対する看護		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	障害をもって生活する対象を支える制度、看護を述べるができる		
		各コマにおける授業予定	事故により中途障害となった成人男性の看護		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	在宅において生活者として対象に応じた看護について述べる ことができる		
		各コマにおける授業予定	対象別在宅看護での学びを共有する		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			